

## 4 - 1 伊豆大島近海の群発地震（1986年4月） Earthquake Swarm near Izu-Oshima Island, in April, 1986

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division Japan Meteorological Agency

伊豆大島北部沿岸で、4月1日から3日にかけて群発地震が発生した。

第1図は大島（V：500， $T_0$ ：1秒），鎌田（V：10,000， $T_0$ ：1秒）における時間別地震回数及び、大島の有感地震回数を示す。

地震活動は1日午後最も活発化し、15時50分には最大M 3.1の地震が発生するなど、同日中に震度3：5回を含む34回の有感地震が観測された。

これらの地震は第2図に示すように、伊豆大島の北部沿岸の極く浅い所に集中している。規模については、第1図の鎌田での地震回数と比較するとわかるように、大島のみで記録される程度の規模の小さなものが多かった。

なお、第2図に示す震央分布図は、臨時的に大島測候所の火山用地震観測点5点の観測データも加えて求めたものである。

1977年以降の静豆大島近海の主な地震活動としては、第3図に示すようなものがある。その概要は、

### (1) 1977年10月9日～12月11日

9日から大島西方沖に震源を有する地震が群発した。10月30日，31日，11月15日～17日に特に活発で、この期間中有感地震は31回（10月：9回，11月：15回，12月：7回）あった。最大地震は17日08時02分のM 3.4の地震であった。

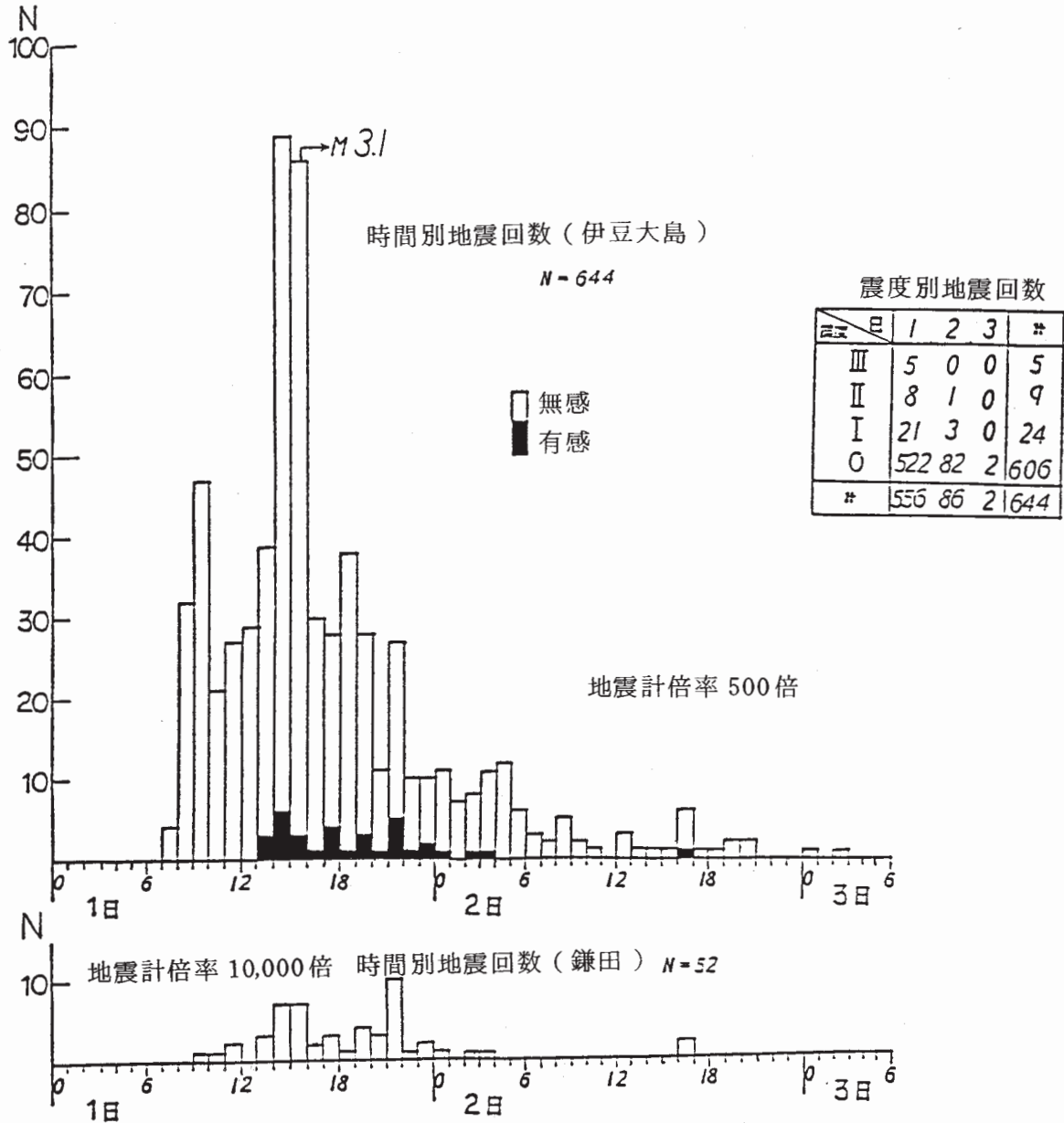
### (2) 1978年1月13日～31日（伊豆大島近海地震の前震・余震活動）

14日12時24分に大島西方沖にM 7.0の地震が発生し、大島では震度5であった。この地震により、伊豆半島および伊豆大島では死者25名を含む多数の被害を伴った。なお、本震の発生する前、大島では51回の有感地震が観測された。これらの地震は大島に近い所で発生したものであり、本震後震源域は伊豆半島方向に広がった。31日までの有感地震は273回であった。

### (3) 1983年12月30日～1984年1月

特に12月30日（震度4を2回含む有感地震22回），31日（有感地震8回）が活発で、それ以降地震回数は急速に減少した。最大地震は30日21時51分のM 3.5であった。

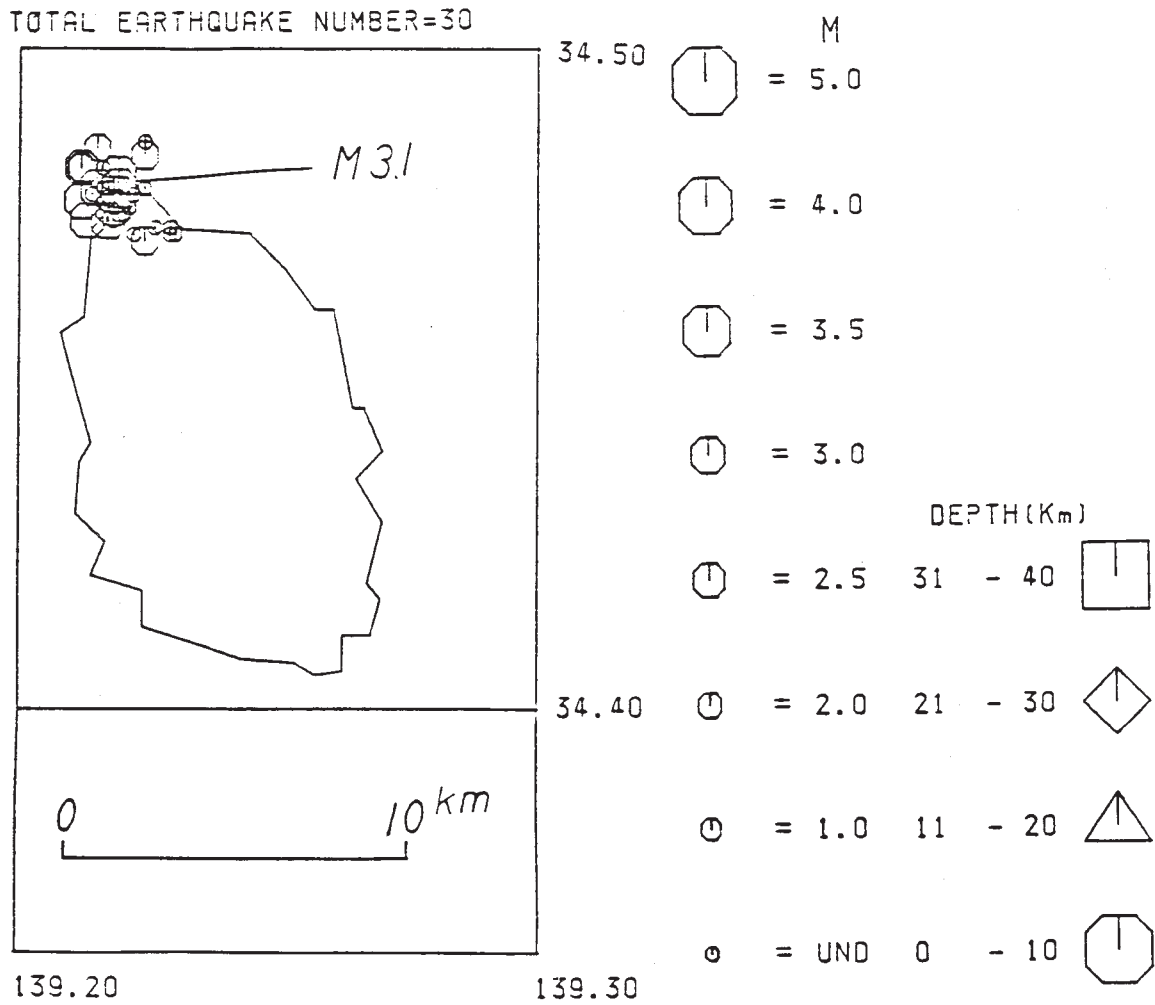
今回の群発地震は、これらの震源域のやや北側に発生したものであるが、活動規模は小さいものであった。



第1図 大島及び鎌田で観測された時間別地震回数  
(黒塗りは大島測候所で有感となった地震回数)

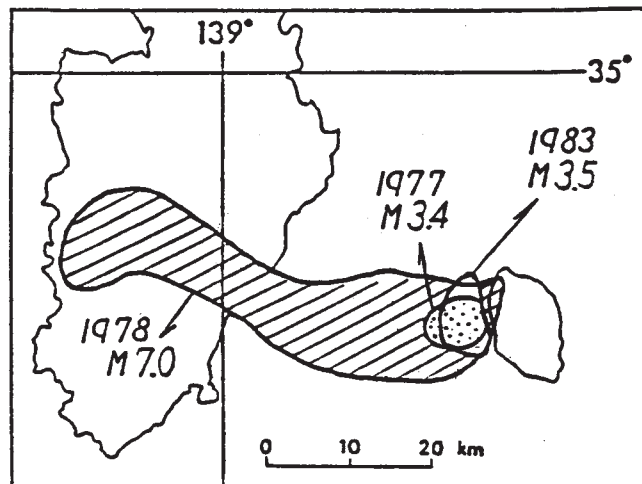
Fig. 1 Hourly number of earthquakes observed at Oshima (upper part) and Kamata (lower part). Black columns show number of felt earthquakes at Oshima Weather Station.

1986 4 1 --- 1986 4 3



第2図 震央分布図

Fig. 2 Distribution of earthquakes.



第3図 最近の伊豆大島近海のおもな地震活動の震源域

Fig. 3 Epicentral areas of major seismic activities near Izu-Oshima Is., 1977 - 1985.